

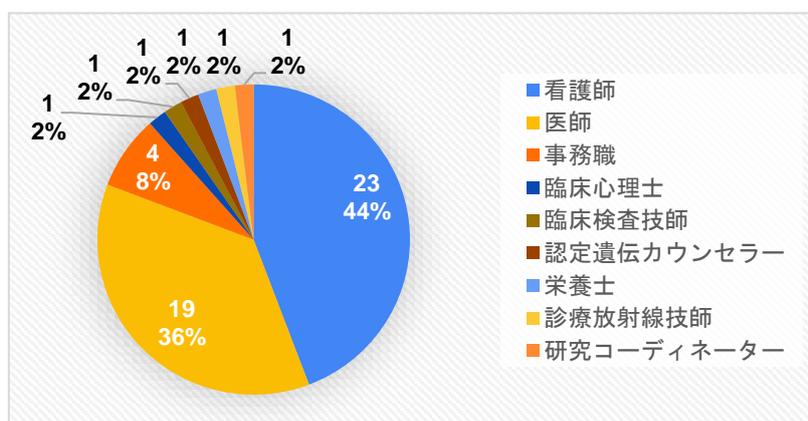
<リスクマネージャー向け TeamSTEPPS 実施報告/アンケート結果>

2025年4月22日、京都大学医学部附属病院リスクマネージャー86名（医師、看護師、薬剤師、事務、管理栄養士、臨床検査技師、臨床工学技士、研究コーディネーター、臨床心理士、認定遺伝カウンセラー、診療放射線技師）を対象に、TeamSTEPPS研修を実施しました。

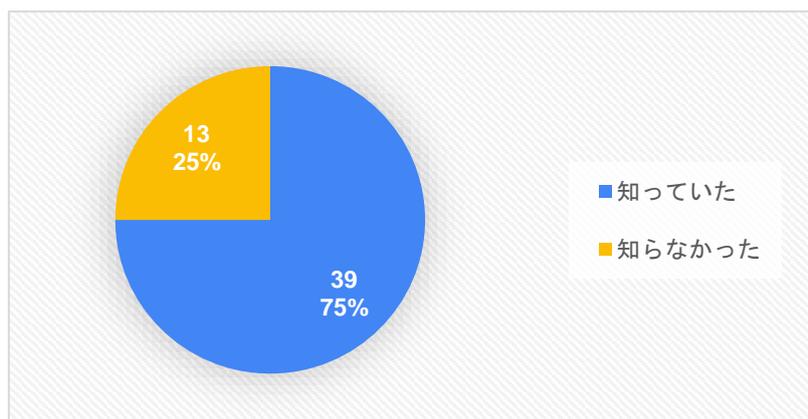
その後、TeamSTEPPS研修に参加された皆さまを対象にアンケートを実施しました。回答者54名の内、集計対象の52名のアンケート結果を報告いたします。

【アンケート項目】 ※自由記載あり

あなたの職種を教えてください。（回答数：52）

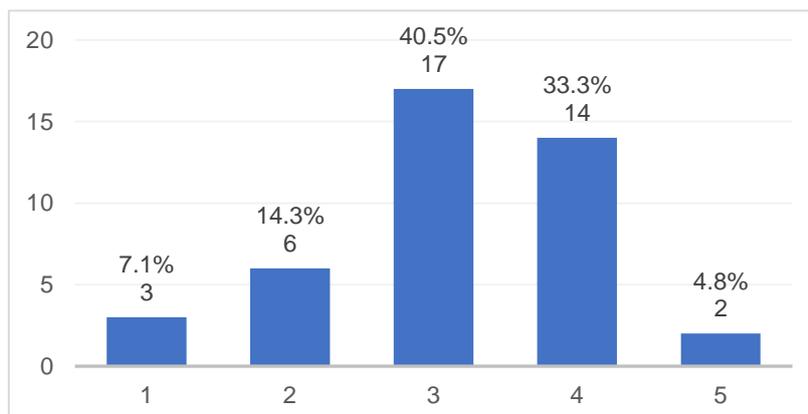


Q1：TeamSTEPPSについて知っていましたか？（回答数：52）



「知っていた」と答えた人は39名（75%）で、大多数が事前にTeamSTEPPSの存在を認識していたことがわかります。一方、「知らなかった」と答えた人は13名（25%）であり、一定数の参加者にとっては初めて触れる内容だったことが示されています。

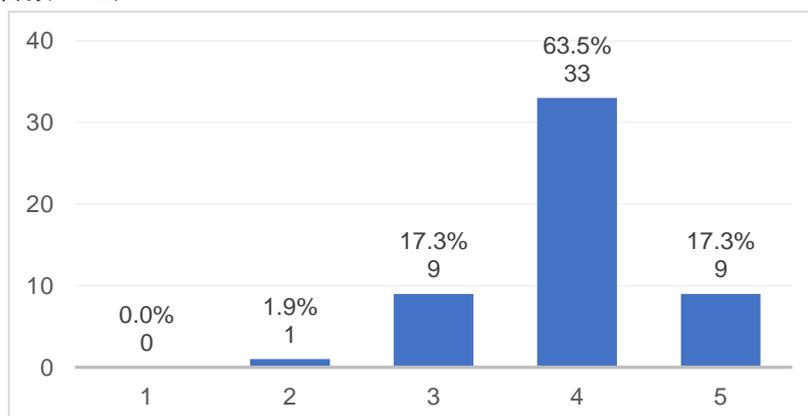
Q2 : 知っていた方に質問です。この研修を受ける前は、どれくらい理解していたと思いますか？（回答数：42）



最も多かった回答は「3」（40.5%）、次いで「4」（33.3%）でした。全体の約74%が「ある程度理解していた」と自己評価しています。「2」と答えた人は6名（14.3%）、「1」と答えた人は3名（7.1%）でした。一方で、「5」と答えた人はわずか2名（4.8%）にとどまりました。

「1」や「2」といった低い理解度を選んだ人が約21%おり、理解のばらつきが見られたものの、多くの回答者が研修前には中程度からやや高めの理解度を持っていたことがうかがえます。

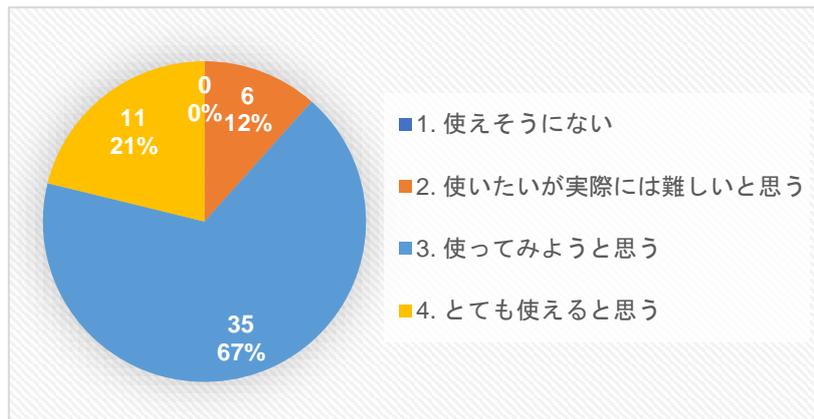
Q3 : TeamSTEPPS 研修の内容について、あなたの理解度を「1～5」で教えてください。（回答数：52）



最も多かったのは「4」で、33名（63.5%）が選択しており、研修内容を高いレベルで理解できたと感じている人が多数を占めました。次いで「3」と「5」がそれぞれ9名（17.3%）ずつで、一定数の参加者がある程度理解できていると考えており、とてもよく理解していると認識している参加者もいることがわかります。「2」は1名（1.9%）、「1」は0名でした。

全体として、参加者の多くが TeamSTEPPS 研修内容を良好に理解していることがうかがえます。

Q4 : Two challenge rule と CUS は必要な場面で使えそうですか？（回答数：52）



「使ってみようと思う」と回答した人が67%と最も多く、次いで「とても使えると思う」が21%を占めました。「使いたい但实际上には難しいと思う」は12%でした。

全体の約85%が前向きに活用意欲を示しており、研修内容が実践に活かせると感じた参加者が多いことがうかがえます。

以下の自由記載では、30件の回答をいただきました。自由記載の一部を抜粋してご紹介します。たくさんのご意見や感想をありがとうございました。

Q5 : TeamSTEPPS 研修で学んだことで印象に残ったことを教えてください。（回答数：30（内10件抜粋））

- 主語を自分にすることで、相手を嫌な気持ちにさせずに思いを伝えられやすいというのが、実践をとおして感じた。
- 役割が異なるロールプレイは、医師は特にやった方が良い。
- 薬剤師役を担当しました。医師役が、どんな言葉で納得したかを聞いたのが印象に残りました。
- CUSのグループワークではこちらの心配の伝え方で相手の対応も変わることが印象に残った。
- 他のグループのロールプレイを見て、同じ方法を用いても、人（職種）によって伝え方が異なることがわかり興味深かった。
- CUSのことを、医師がシーユーエスと言っていました（訂正しました）。その方は、CUSの言われ方のほうが受け入れやすいと言っていたので、2回チャレンジルールよりもCUSを使うようにしようと思います。
- ロールプレイが面白かった。医師が他職種にどのように思われてるか垣間見えた。
- 2チャレンジルールは普段からよく使っていますが、どんな場面でも1メッセ

- ージは有効なので、これから CUS も使います。
- 相手に伝えたい重要なことがある場合、一度断られてももう一度チャレンジする姿勢が大切
 - STEPPS は有効な手段だと思います。意見を言いやすくするのは、心理的安全性が大事なので、話しかけやすい雰囲気や口調を心がけたいです。

1メッセージや CUS などの実践が印象に残ったという声が上がりました。特にロールプレイを通じて、職種間の伝え方の違いや、相手への伝わり方を実感した参加者が見られました。CUS の表現方法や 2 チャレンジルールの活用についても関心が高く、現場での応用意欲がうかがえました。また、意見を伝えやすくするには心理的安全性の確保が大切だという気づきもありました。

全体を通して、学んだ内容を今後の実践に活かしたいという前向きな声をいただいたと考えています。

Q6 : TeamSTEPPS 研修の運営に関して改善してほしい点があればご意見ください。 (回答数 : 14)

アンケート結果からは、今回の研修内容や対象に対して建設的な意見が寄せられました。まず、リスクマネージャーだけを対象とするよりも、新規入職者や初期研修医、現場で板挟みになりやすいスタッフなど、より幅広い職員に向けた内容とする方が有効ではないかとの指摘がありました。また、TeamSTEPPS の考え方や具体的な対応方法を病棟全体で共有・実践していくことが重要であり、RM 同士でアイデアを交換する場として活用する方が適切なのではないかとの意見もありました。

研修内容については、ロールプレイの時間 (10 分) が長すぎるとの声もあり、全員が役割を交代しながら体験できるよう工夫することで、より効果的な研修になるとの提案がありました。研修内容のうちロールプレイのセッティングを変えたものを期待する、という意見もありました。また、多職種が参加する場での発表は心理的ハードルが高く感じられるという声もあり、進行方法や雰囲気づくりへの配慮も課題とされています。さらに、事前に研修の目的や内容について資料を提示してほしいという声も寄せられました。

総じて、今回の研修が一部職種だけでなく、院内全体に向けた取り組みとなることで、より高い効果が期待できるという意見が出され、来年度以降に向けての改善と工夫に活かすべき点が見受けられました。

～アンケートにご協力いただきありがとうございました～